

本年の大麦の止葉展開期は、今後、平年より高い気温で推移した場合、平年並みの4月7～10日頃（出穂期は4月18～21日頃）となる見込みです。
高品質・収量の大麦を目指し、**防除や排水対策を徹底**しましょう。

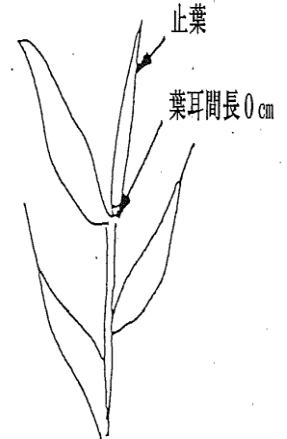
1 止葉展開期追肥

◎分施肥体系

追肥時期が早いと整粒歩合が低下し、遅いと硝子率が高くなり品質が低下します。大麦の生育をよく確認して施用しましょう。

表 分施肥体系ほ場の追肥の目安

追肥時期	葉色	m ² 当たり茎数	10a 当たり施用量
4月7～10日頃	5未満	670本未満	硫安5～10kg
		670本以上	硫安5kg以内
	5以上	—	追肥しない



追肥時期の大麦の姿

注) 肥効調節型基肥肥料(LP大麦48号)を使用した場合は、原則**追肥しない**。

2 赤かび病防除

赤かび病は、特に開花時(1回目)の防除が重要です。ほ場ごとに開花状況を確認し、**適期の2回防除**に努めましょう。

①散布時期の目安

1回目	穂揃期(開花始め) 4月21～24日頃
2回目	1回目から7日後

②防除薬剤

	1回目	2回目
粉 剤	トップジンM粉剤DL 4kg/10a	ワークアップ粉剤DL 3kg/10a
液 剤	トップジンM水和剤 1000倍液 150ℓ/10a	シルバキュアフロアブル 2000倍液 150ℓ/10a

※可能な限り防除効果の高い、液剤体系としましょう。

※無人ヘリコプター散布では希釈倍率が異なるので確認してください。

※周辺作物や住宅地への飛散防止を図るため、風の弱い時間帯に散布しましょう。

3 排水対策

排水不良ほ場では、根張りが悪く、施肥効果が低くなります。溝に滞水しているほ場は早急に**排水溝の手直し**を行い、排水を促しましょう。

春の農作業安全運動 (4月1日～5月31日)